

一人ひとりのよさや可能性を 活かした保育を考える

香川大学 松井 剛太

自己紹介

- 香川大学教育学部幼児教育コース
- 保育現場における障害のある子どもの支援
- 香川県内の保育施設に巡回相談
- 保育所等における医療的ケア見受け入れに関するガイドライン

本日の話

- インクルージョンに向かうとは
- 保育の質との関連
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画
- おわりに

国連の障害者権利委員会による勧告

NHK

改善勧告② 教育

日本の現状 特別支援教育を受ける子どもの数

約57万人(2021年度) **10年前の2倍**

文科省



文科省の
説明する背景

- ◆ 知的・発達障害の早期発見
- ◆ 本人や保護者の意向

学校の選択は“本人や保護者の意向を最大限尊重,,

- ◆ 教育委員会に特別支援学級や学校を強く勧められた
- ◆ 通常学級で学べることを知らなかった

障害ある子や
保護者の声

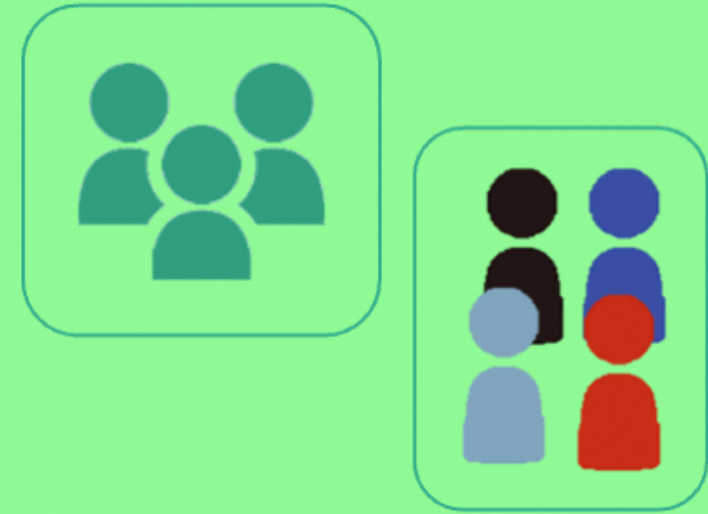
Exclusion(排除)

こどもが直接的
または間接的に
教育の機会を妨
げられたり拒否
されたりするこ
と



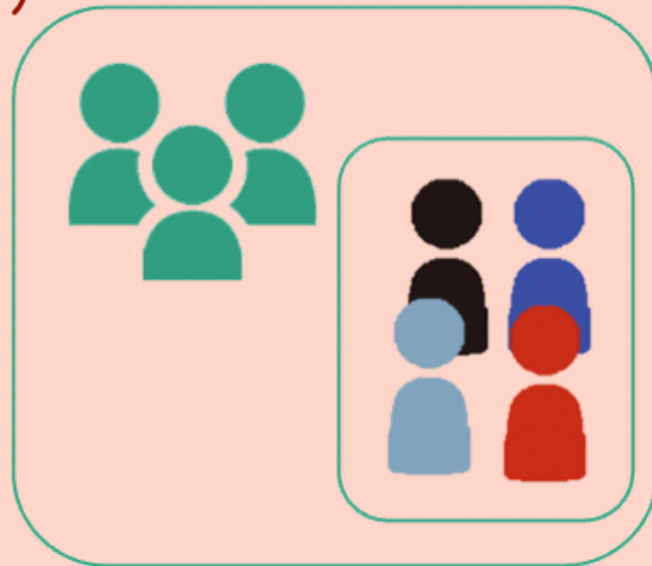
Segregation(分離)

こどもが障害の
有無で別々の教
育環境が提供さ
れること



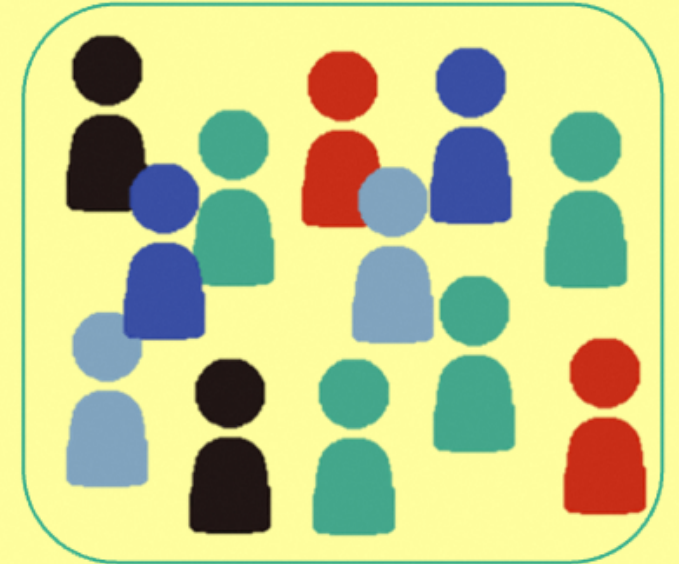
Integration(統合)

障害のあるこど
もが学校の一般
的な要件に適応
可能な場合に同
様の環境にいる
ことができる

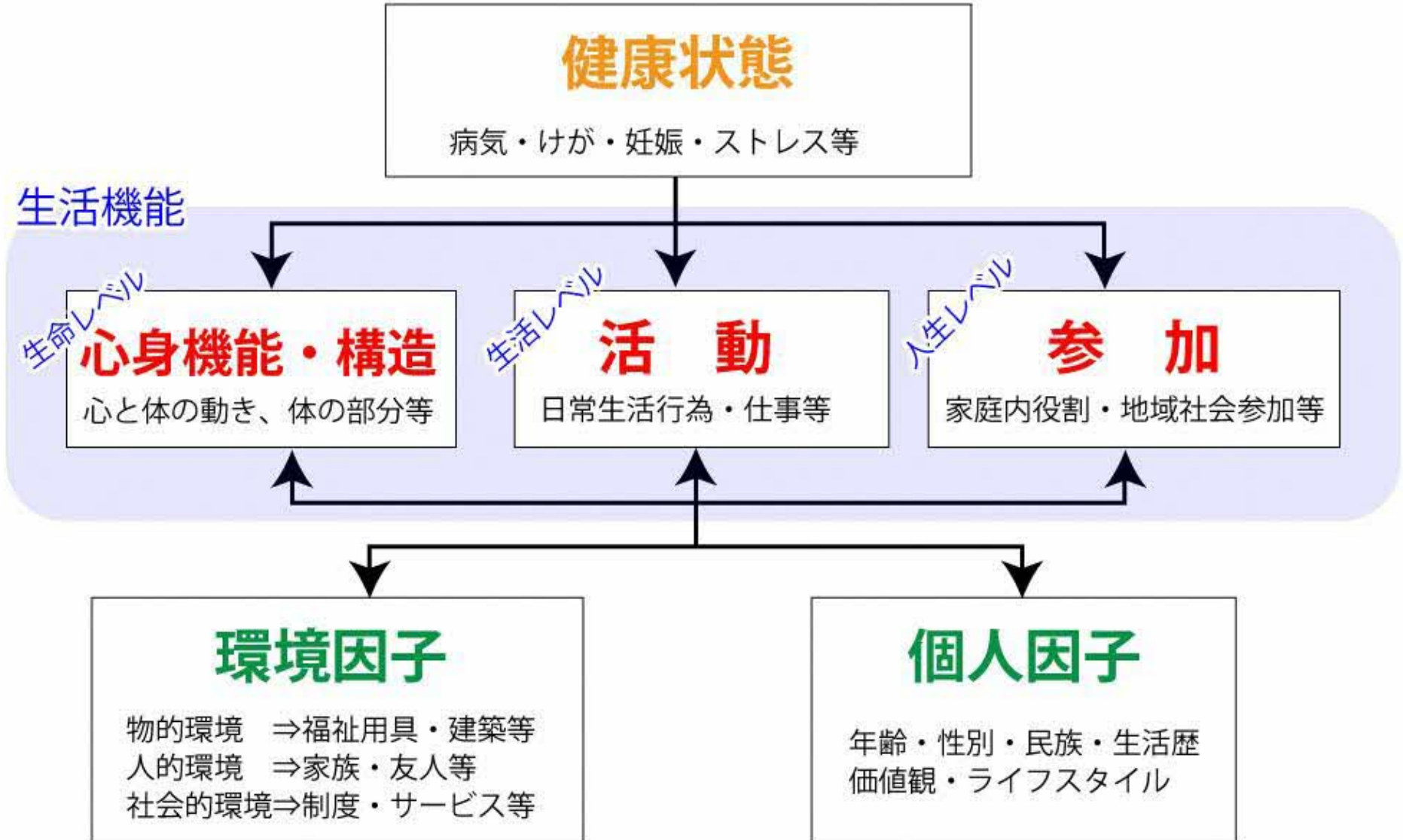


Inclusion(包摂)

すべてのこども
が要件を越えて
公平に参加でき
、学びの体験や環
境が提供される
こと



生活機能分類 (ICF)





EQUALITY



EQUITY

子どもの気持ちはどこにあるのか？

- 自閉症の診断を受けているCくん（4歳、男児）。入園してから誰とも関わることなく、いつも一人で園庭を探索した。あるとき、Cくんがログハウスの上に登って屋根にまたがり、ぼーっとしている様子が見られた。ログハウスは高く、落ちると危険なため、登ってはいけないルール。保育者は、「Cくん、そこは行っちゃだめだよ。降りようね」と伝える。しかし、降りようとしなないCくん。保育者は、下から両手を差し出して「ほら、こっちへおいで」と言うが、応じてくれない。その日はしかたなく、保育者が無理やり抱っこして降ろしたが、Cくんは不満で大暴れしてしまった。翌日、ふたたびCくんがログハウスの屋根に登った。昨日、大暴れしたこともあり、保育者はどうしようか悩む。

東田直樹さんの言葉

【第2章 感覚 見ながら聞くことは大変ですか？ より抜粋】

- 「人の目を見て話さない」と言われますが、目を見ていると、自分がどういう状況にあるのかがわからなくなります。また、聞くことを意識すると、目で見ているものが何かわからなくなるのです。
- 本やパズルなど自分で好きなものを見ている場合は、そちらに集中して人の話を聞いていないと思われがちですが、周りの声も僕には聞こえています。その場合は、ほとんど意識せずに、見ている物は僕の目に映っているだけなのです。それはまるで、自分の脳の中にきれいな景色を映しながら、朗読を聞いている感じなのだと思います。聞いていないのではなく、僕にとっては、むしろリラックスできて話がよく聞こえている状態です。

一人一人の多様性



- 表層的な多様性

国籍

年齢

性別

- 深層的な多様性

価値観

考え方

趣味嗜好

みんな違って、みんないい

- 多様性を象徴する言葉
一方で…

分断を促しかねない

「みんなやり方や考え方が違うのだから、それぞれの領分を守って、お互い干渉しないようにしよう」

「この子は、うちのやり方に合わないから入所させられない」

「あの子が今やりたいことはこれだから、みんなと違ってても仕方がない」

「できないのも個性の一部だから、しょうがない」

これからの指導・支援について

ダイバーシティ（多様性）

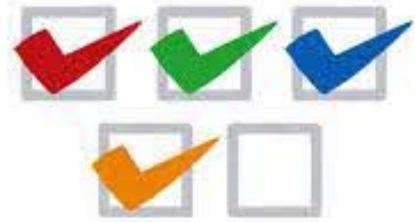
&

インクルージョン（包摂）

測定する質と意味づける質

客観的で普遍的なもの

- 客観的な基準を用いて、質を測定する。



客観的なエビデンスが
重視される

主観的で多視点から捉えられるもの

- 当事者の主観、多様な視点から「その場」の実践や子どもの経験を意味づける。



当事者の声（対話）が
重視される

「参加」とは何か？

事例：運動会に向けて取り組む中で（Rくん、4歳児）

Rは母、祖父、祖母の4人家族である。言語の遅れを母親が心配し、3歳半頃からST訓練に月1回通っている。新しい環境や初めて経験することに対しては慎重で、慣れるまでに時間を要することが現在でもある。4歳児の12月から言語聴覚士からの勧めでOT訓練にも月1回通うようになり、軽度発達障害と診断された。

全体練習が始まると帽子を取りにロッカーへ行くものの、そこで立ち止まってしまう。担任が「R君、行こう」と声を掛けると「どうしようか、今考えよる」と言う。少し時間を置き「どうするか決めた？」と言うと「まだ考えよる」と平行線であった。担任は先に行くことを伝え、後は加配職員に任せることにした。階段の降り口まで来た時、運動場の様子が見える窓の前で、Rは足を止め、窓越しにみんなが運動会に向けて取り組んでいる様子を見ていたと加配職員から聞いた。

参加とは

同じ時間に同じ~~場所~~で同じことをさせること

本人の充~~実感~~ + 周囲の関心
= 同じ~~ような~~気持ちになること

保育者のまなざし

一方的・評価的なまなざし

- こういうところができているとか、こういうところがいいとか、教師が子どもの能力や態度を計測する見方

共感的・ケアリング的まなざし

- 目の前の子ども自身がいま何を願い、何にもがき、何を越えようとしているのか、と教師が関心を向けつつけようとする見方

聴き入ることの教育 vs 教えることの教育

- 子どもの声に聴き入り、保育を見直す対話につなげる
- 保育の場は、**子どもが生活者となるための準備の場ではなく、すでに子どもは生活者であり、さらによりよい生活者へと、「創造性、変化、革新的、間違い、疑問、そして不確実性の存在を実感する」場として、いつも「研究する精神性」を滋養する魅力ある場である**

「問題点モデル」と「信頼モデル」

問題点モデル

- 子どもが示す問題点、子どものできない、身に付いていない部分に焦点を当てることから、計画を立ち上げ、記録し、評価していくモデル

信頼モデル

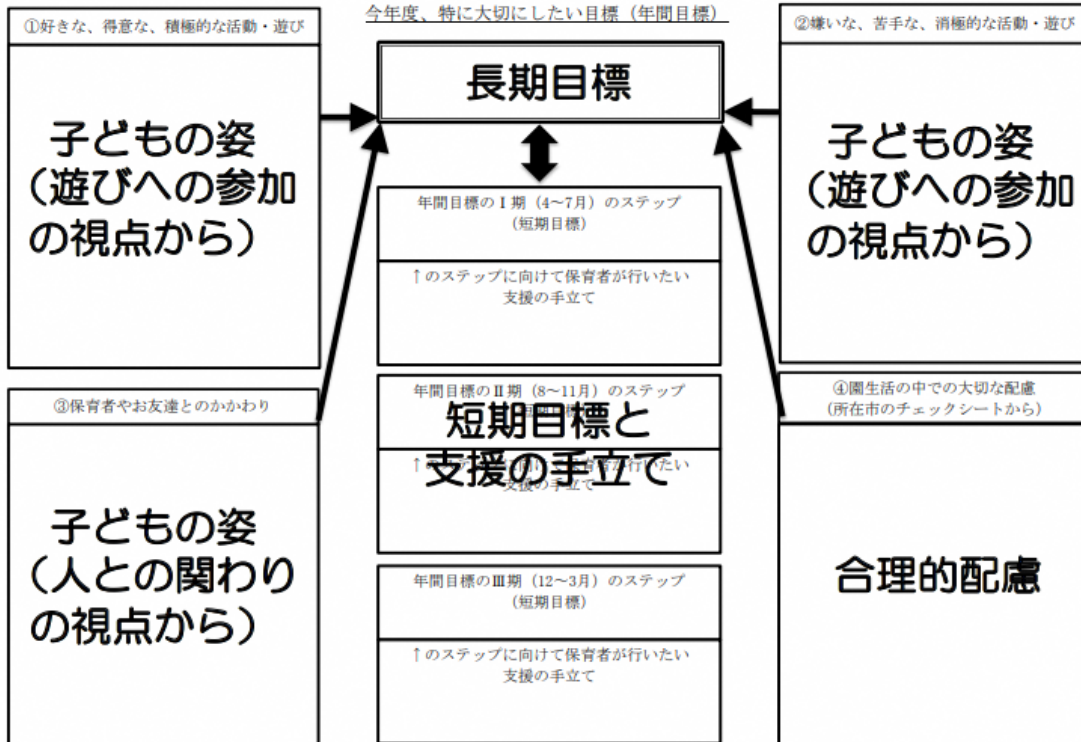
- 子どもを能動的な学び手であるにとらえ、子どもの保育への意欲的な参加の姿を積極的にとらえていくことから、計画を立ち上げ、記録し、評価していくモデル

個別の計画について

A幼稚園 個別の指導計画

計画作成者		最初の作成日	年	月	日
幼児氏名		男 女	年保育	歳児	組
生年月日		診断名		手帳の有無	有 無 手帳区分:
利用している医療機関 療育機関 デイサービス		左記機関での診療事項、療育内容など			
フェイスシート					
保護者との懇談の経過 子どもの家庭での様子					
療育機関、デイサービス、小学校との連携、引き継ぐべきこと					

計画作成時の子どもの姿



各期 (目標、目標以外の姿) の評価	I 期 (4~7月)	期ごとの子どもの姿の評価	保育者のサポートで良かった点、反省点
	II 期 (8~11月)		期ごとの保育者の支援の評価
	III 期 (12月~3月)		

吉川和幸・東重満・川田学 (2020) 障害児保育における「信頼モデル」に基づく個別の指導計画及び保育記録の開発と実践. 子ども発達臨床研究, 14, 49-69.

記入例

教育支援プランA（個別の教育支援計画）

ふりがな		性別	生年月日		取扱注意
本人氏名	埼玉 花子	女	平成〇年〇月〇日		
ふりがな		住所	〇〇市△△1-2-3		
保護者氏名	埼玉 殿	TEL			
対象期間	平成 年 月 日（ ）から平成 年 月 日（ ）まで3年間				
作成年度	学校名	校長名	学年・組	記入者名	
1	平成21年度	〇△学校	〇〇〇〇	△年〇組	●●●●
2					
3					
特別な教育的ニーズ	<p>①言葉の理解に困難さはないが、それをとどめておくことが難しいために、言葉だけの指示では、行動に移せないことがある。②集中を持続することに困難さがある。③言葉を通して人とやりとりすることが苦手なために、トラブルが起きてしまうことがある。</p> <p>従って、①指示は、絵や写真、文字等の視覚情報を添えて伝える、②目標を細かい段階で設定し、達成感を味わいながら集中の持続を伸ばしていく、③良好な人間関係を形成するための手立てを身に付ける、などのことが必要である。</p> <p>支援に当たっては、①注意を促してから、指示を出す、②小さなことでできたことを具体的に褒め、意欲につなげる、③否定的な表現はできるだけ避け、「〇〇するといいい」「〇〇するとかっこいい」という表現をする、などの配慮が必要である。</p>				
（追加）					
本人・保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経験をし、充実した学校生活を送ってほしい。 ・良好な友人関係を形成したい。 				
教育機関の支援	所属校	目標・機関名	支援内容	評価	
	※2	①適切な表出言語を身に付け、良好な人間関係を形成する。	①ソーシャルスキルトレーニングを活用し、人とかかわり方を身に付ける。「こういう時にはどうい言葉を使う」ということを増やしていく		
		②集中する力を身に付ける。	②スモールステップで目標を設定し、達成感を味わえるようにする。 姿勢の保持ができるようにマットや杵などを使い、意識しやすくする。		
		③行動や気持ちをコントロールする力を身に付ける。	③言葉だけの指示で行動することは難しいので、視覚情報を添えて伝える。気持ちや行動をコントロールするための具体的な手立てを身に付ける。		
	（追加）				
就学支援委員会の助言内容					
（追加）					
支援籍、交流及び共同学習					
（追加）					

記入のポイント

1 特別な教育的ニーズ

特別な教育的ニーズ	対象となる幼児児童生徒は現在 ①…… ②…… ③……という状況である。 従って(発達段階や本人の特性、本人や保護者の願いを踏まえ、中長期的な視点から)①…②…などの支援が必要である。 支援に当たっては(家庭や学校、地域などの環境、本人の特性、得意分野などを考慮し)①…②…などの配慮が必要である。
※1	
（追加）	ニーズの見直しを行った時に随時記入する。その際記入年月日を入れる。
子どもの現在の状況や、本人・保護者の願いを踏まえ、長期的(3年程度)な視点から支援内容、配慮事項を記入する。 「将来どのような力を身に付けることが必要か」という見通しの下、そのために「現在どのような力を身に付けるのか」という観点で教育的ニーズを考える。	
本人・保護者の願い	伸ばしたい力、長期的(3年程度)な目標など、本人、保護者の考えを記入する。

教育機関の支援

所属校	目標・機関名	支援内容	評価
※2	①所属校での目標を記入。3年間を見据えて記入する。	①所属校において、目標達成のために、どのような支援を行うかを具体的に記入する。	個々の支援内容についての評価をする。特徴的な事柄を記入する。 1、2年目に達成した場合や目標を見直す場合、引き継ぎが必要な場合には、その時点で記入する。記入年月日も入れる。

就学支援委員会の助言内容	就学支援委員名を記入する。	支援を受けた機関、支援内容、その時受けた助言などを記入する。	
（追加）			
支援籍、交流及び共同学習	支援籍を実施しているのであれば籍のある学校名を記入する。	支援籍の内容を記入する。 (実施年月日・在籍クラス・内容等)	支援籍を実施した際の子どもの様子等を記入する。
（追加）			

※3

関係機関の支援	機関名	支援内容
医療・保健	〇△病院	平成〇年12月10日受診し、面接、子どもの観察を行う。検査については、〇〇相談所で行ったものを持参。広汎性発達障害と診断。月に1回面接を行う。
（追加）		
福祉・労働		
（追加）		
家庭・地域	放課後児童クラブ	保護者が作成したサポートブックを参考に支援。また△特別支援学校のコーディネーターから支援について助言を受ける。
（追加）		
障害の状況	広汎性発達障害(〇△病院)	
本人のプロファイル	このままでの支援内容	1歳半健診、3歳児健診での指摘はない。 保育所に8カ月から入所。1歳までは子どもの個性として捉えていたが、2歳児クラス以降は支援が必要と言われることが多くなった。 相談歴 埼玉県立総合教育センター WISC-III(FIQ 〇〇 VIQ △△ PIQ □□)
（追加）	その他	

保育・教育が目指すこと

どんな子どもも、自分が今日一日生きてよかったと思えるようにしたい。

その中身をいえば、いろいろある。自分で何かやったという気持ちをもつこと。自分のやっていることを大人から認めてもらふこと。何もやれなくてもいい。生きてここにいることを喜んでもらえること。**この学校はそのために工夫したい。**このことは普通の子どもも同じである。

津守眞『保育の現在——学びの友と語る』萌文書林、2013年、pp. iii - iv.

インクルージョンを超えて

•トランスクルージョン

インサイダーをその場にとどまらせ、アウトサイダーに動きを求める(位置の移動)よりも、アウトサイダーとインサイダーの両者の位置を変えていく動きを求める

【ガート・ビースタ 著、上野 正道 監訳

『教育にこだわるということ:学校と社会をつなぎ直す』東京大学出版会】

特別な配慮を 必要とする子どもが 輝くクラス運営

教える保育からともに学ぶ保育へ

松井剛太 著



ラーニングストーリー はじめの一歩

子どもの育ちを 保護者とともに 喜び合う

Learning Story

丸亀ひまわり保育園・松井剛太 著

ひとなる書房



ご清聴ありがとうございました